

モネの作品を訪ねるフランスの旅

Voir les œuvres de Monet : le tour des Musées de France

パリ

1 | Musée Marmottan-Monet マルモッタン美術館

所在地：2, rue de Louis-Boilly, PARIS
連絡先：01 44 96 50 33
アクセス：メトロ 9, La Muette 駅下車。
休館日：月曜日、1月1日、5月1日、12月25日
鑑賞できる主な作品：《印象、日の出》(1973年)

日本でも親しまれている「印象派」という名称の由来となった作品《印象、日の出》が見られる美術館。87点もの絵画やデッサンをはじめ、モネが使ったパレットも所蔵されており、モネファン必見の美術館だ。ルーヴル美術館やオルセー美術館のように観光名所の中心にある美術館とは異なり、閑静な住宅街にあるため、美術館を訪れる際に素顔のパリに出会えることも、魅力の一つ。

2 | Musée de l'Orangerie オランジュリー美術館

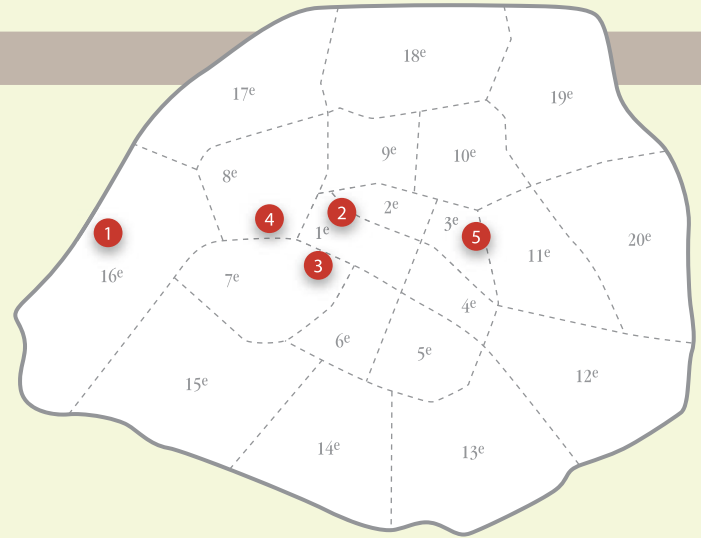
所在地：Jardin des Tuileries, PARIS
連絡先：01 44 77 80 07
アクセス：メトロ 1, 8, 12 Concorde 駅下車。
休館日：月曜日、1月1日、5月1日、12月25日
鑑賞できる主な作品：《睡蓮》

最晩年のモネが、白内障を患いながらも、渾身の力を振り絞って制作した連作《睡蓮》の大装飾画が鑑賞できる。制作当初のモネのヴィジョンを再現すべく、外光を取り入れられるように近年改装された展示室は、印象派ファンならずとも、ぜひ一度は訪れたいところ。かつて「印象派のシステーマ礼拝堂」とも呼ばれたことのある、神々しいまでの静謐な展示空間に、旅の疲れも癒されるはず。

3 | Musée d'Orsay オルセー美術館

所在地：1, rue de la Légion d'honneur, PARIS
連絡先：01 40 49 48 14
アクセス：メトロ 12, Solferino または RER C, Musée d'Orsay 駅下車。
休館日：月曜日
鑑賞できる主な作品：《日傘をさす女性、右向き》(1886年)ほか

モネの青年時代の作品をはじめ、《サン・ラザール駅》《日傘をさす女性》《積み藁》《ルーアン大聖堂》といった名作が一堂に展示されている国立美術館。モネの遺族や収集家たちによって国に寄贈された作品は、いずれも第一級のもの。また、印象派の父と呼ばれるモネの《草上の昼食》や、ルノワールをはじめとした印象派のほかの画家たちの作品も多く収蔵されているため、モネとの共通点や相違点を比較する楽しみも持てる。



4 | Musée du Petit Palais パリ市立プティ・パレ美術館

所在地：Avenue Winston Churchill, PARIS
連絡先：01 53 43 40 00
アクセス：メトロ 1, 13 Champs-Élysées Clémenceau 駅下車。
休館日：月曜日、祝祭日
鑑賞できる主な作品：《ラヴァクールの日没》(1880年)

《ラヴァクールの日没》は《印象、日の出》(マルモッタン美術館蔵)と対をなすかのような構図で、夕暮れ時の沈みゆく太陽を描いた作品だ。美術館は、シャンゼリゼ大通りのほど近くにある、1900年のパリ万博の会場として建設された美しい建物。カフェも併設されているので、パリ散策の途中で立ち寄ってみては？ 常設展示室は入館料無料。

5 | Musée de la Chasse et de la Nature 狩猟博物館

所在地：60, rue des Archives PARIS
連絡先：01 53 01 92 40
アクセス：メトロ 11, Rambuteau
または 1, 11 Hôtel de Ville 駅下車、徒歩5分。
休館日：月曜、祝祭日
鑑賞できる主な作品：《狩》

パリのなかでも歴史ある町並みを誇るマレ地区にある、鉄砲や古武器、剥製をはじめとする狩猟をテーマにしたものだけを集めた博物館。この美術館の絵画展示室では、モネが描いた《狩》を見ることができる。ちなみに同館には、狩猟には欠かせない存在の猟犬を描いた17世紀、18世紀の作品が多数収められているので、大好きな絵画ファンにはぜひお薦めの博物館でもある。